

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 1 2 問 } 2 4 問 1 時間  
無線工学 1 2 問

### 法 規

〔1〕 次に掲げる事項のうち、総務大臣が海上移動業務の無線局の免許の申請の審査をする際に審査する事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 周波数の割当てが可能であること。
- 2 工事設計が電波法第3章（無線設備）に定める技術基準に適合すること。
- 3 総務省令で定める無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準に合致すること。
- 4 その無線局の業務を維持するに足りる経理的基礎及び技術的能力があること。

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J 3 E
- 2 A 3 E
- 3 F 3 E
- 4 F 1 B

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の空中線電力50ワット以下の無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができる周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 470MHz以上
- 2 25,010kHz以上
- 3 4,000kHzから25,010kHzまで
- 4 1,606.5kHzから4,000kHzまで

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の運用の停止
- 2 電波の型式の制限
- 3 再免許の拒否
- 4 通信の相手方又は通信事項の制限

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 2 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。

〔6〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに廃棄する。
- 2 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 3 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 船舶局に備え付けておかねばならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなくてはならないか。次のうちから選べ。

- 1 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 2 毎月1回以上協定世界時に照合する。
- 3 毎週1回以上中央標準時に照合する。
- 4 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。

〔8〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
- 2 直ちにその呼出しを中止する。
- 3 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
- 4 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。

〔9〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| (1) メーデー (又は「遭難」) | 3回                   |
| (2) こちらは          | 1回                   |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称    | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 3回以下

〔10〕 船舶局は、他の船舶局から無線設備の機器の調整のための通信を求められたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 緊急通信に次ぐ優先順位をもってこれに応ずる。
- 2 支障のない限り、これに応ずる。
- 3 直ちにこれに応ずる。
- 4 一切の通信を中止して、これに応ずる。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 安全通信 (安全呼出しを除く。)を行う場合
- 3 緊急通信 (医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。)を行う場合
- 4 呼出し又は応答を行う場合

〔12〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復
- 2 貴局名は何ですか
- 3 誰かこちらを呼びましたか
- 4 各局